

報道関係者各位

2017年11月14日

株式会社 神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ、モリサワの「Inter BEE 2017」展示に協力 —「Microsoft HoloLens」向けに最適なフォントを実機で体験—

Webシステムやアプリの企画・開発を手がける株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉一郎、以下KDL）は、2017年11月15日（水）から17日（金）まで幕張メッセにて開催される「2017年国際放送機器展（Inter BEE 2017）」の株式会社モリサワ（以下、モリサワ）の展示に、「Microsoft HoloLens」向けのフォント表示システムの開発で協力いたします。

■ KDLとモリサワの新デバイス向けフォントへの取り組み

フォントは、読みやすさはもちろん、媒体の種類、イメージ、読むターゲットや読むシーンに応じた表現を実現する重要なデザイン要素のひとつです。これまでKDLではスマホやウェアラブル端末を含む様々なデバイス向けのアプリ開発を行って参りました。一方モリサワでは、アナログからデジタルの時代への変遷に柔軟に対応し、より多彩な表現を実現する多くのフォントを提供し続けて来られました。

パソコンやタブレット、ウェアラブル端末やHMDなどの新しいデバイスが次々と開発される中、KDLとモリサワは、画面のサイズが制限され目からの距離も近い眼鏡型ウェアラブルデバイス向けに最適なフォントや表示方法を共同で研究しています。

神戸市では、ウェアラブルデバイスを使用した市民参加型の実証事業に取り組み、新たな市民サービス・ビジネスの創出を目指しています。
そこで、「ウェアラブルデバイスとはどのようなものなのか」「ウェアラブルデバイスを活用してどのようなことができるのか」などについてのトークセッションやウェアラブルデバイスに関する技術の体験等をまじえ、市民の方に広く知りたいことを目的と

■「Inter BEE 2017」への展示



「Inter BEE 2017」では、マイクロソフト製のMRデバイス「Microsoft HoloLens」にモリサワのフォント（UD新ゴNT、UD新丸ゴ）を組み込んで展示いたします。KDLは、本展示用のフォント表示アプリケーション開発で協力しています。

ブースでは、フォントによる見やすさの違いを、実機を装着して体験いただけます。

■イベント概要

名 称 : 第53回 2017年国際放送機器展（International Broadcast Equipment Exhibition 2017）

会 期 : 2017年11月15日（水）～17日（金）10:00～17:30 ※最終日は17:00まで

会 場 : 幕張メッセ 千葉市美浜区中瀬2-1 (<https://www.m-messe.co.jp/access/>)

ブース : 映像制作/放送関連機材部門 /ホール3 /3312

出展者 : 株式会社モリサワ

URL : http://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/exhibitor_info/detail.php?exhibitor_id=7341

株式会社モリサワ (<http://www.morisawa.co.jp/>)

1924年創業。日本国内で出版印刷やグラフィックデザイン、電子機器への組込み用途などにデジタルフォントを提供するリーディングカンパニー。代表的な製品は、フォントの年間ライセンス契約製品「MORISAWA PASSPORT」。

【会社概要】

株式会社 神戸デジタル・ラボ

代表者 : 代表取締役社長 永吉一郎

所在地 : (本 社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル

設立 : 1995 年 10 月

資本金 : 2 億 995 万円

従業員数 : 167 名 (2017 年 2 月現在)

URL : <http://www.kdl.co.jp/>

※Microsoft、HoloLens は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】※取材など隨時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ

担当 : ソリューション本部 堀尾 風仁、広報室 松丸 恵子

TEL : 078-327-2280

E-mail : info@kdl.co.jp